

# 難所・大井川、今も難題

## 一写一筆

〜静岡の今

政令指定市の中心街から車で北西に約60キロ。静岡市葵区井川は、大井川上流にある井川ダム周辺の集落である。

ここで川勝平太知事が提唱する「県都構想」の説明会が開かれたのは10月24日だった。紅葉の山間を車で約2時間、知事は湖畔から集まった約120人の住民に「あなた方は、県都構想の特別区と静岡市が目指している特別自治市のどちらを選びますか」などと問いかけた。

会場には、約60年前に生家がダムの湖底に水没した老人がいる。10年ほど前、突然「政令指定市の市民」となった中年の林業家もいた。住み慣れた家を追われ、政令指定市の一員となっても、暮らしを変えなかった人たちはこの日もまた、突然、大きな選択を迫られることになった。

井川湖から林道をさらに車で約2時間、大井川源流に近い山中では、2027年開業を目指すリニア中央新幹線の工事がまわらうとしている。県内ルートは山梨、長野両県にはさまれた約10キロ。すべてトンネルで駅はない。

しかし、工事現場へのアプローチは静岡市内の林道が想定され、やがて工事が始まれば膨大な排出残土の処理問題などが浮上する。大井川の水流や自然環境などへの影響も懸念される。

上流を、やがて時速500キロのリニアが横切る。下流ではSLやトーマス列車が、地域おこしや子どもたちの夢を乗せてトコトコと走っている。

環境保護、過疎対策、観光振興。かつては「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」とうたわれ、交通の難所として知られた清流は、今もさまざまな難題を抱えながら、深い紅葉の中を流れている。

(県代表監査委員・富永久雄)



トーマスが来た——。汽笛と煙を吹き上げながら鉄橋を渡る「きかんしゃトーマス号」=島田市川根町、全日写連高根美奈夫さん撮影